

ねんど じぎょうほうこく
2024年度 事業報告
しゃかいふくしほうじん かい
社会福祉法人 かたるべ会

はじめに

かたるべ会は開所以来33年間、一貫して社会的労働を追求してきました。
就労に力をいれ、少しでも社会の役に立つ仕事を追求してきました。
そして、ある一定程度の成果を上げてきました。しかし、就労できる方たちは、ある程度力のある方たちであり、個性の強い方たちは、就労に結びつかない状況です。また、今年度は永年就労していた方たちが、次々とリタイヤし、かたるべ会に戻ってきています。その原因は本人たちにもありますが、企業側の受け入れ態勢が厳しくなってきた状況もあるかと思えます。多様性の尊重、ダイバーシティなど社会的には強調されてきていますが、現実的には後退しているのではないかと考えざるを得ない状況があるのも事実です。

一方、かたるべ会では職域開拓に目を向け、力を入れてきました。そして、演劇、音楽、美術、YouTuber など、様々な職域を開拓してきました。また、その基本は「厳しく働く」のではなく「楽しく働く」ことです。楽しく働くことで、生産性は上がり、病気にもなりにくい状態となります。私生活に関しても同様、生活をこなしていくのではなく、「楽しく生活する」ことが重要であると考えます。

2024年度、かたるべ会の主要テーマは「楽しくなければかたるべ会じゃない」「楽しく働き」「楽しく生活する」です。そして、その基本は、障がいのある人たちが力をつけるのではなく、社会の側が、障がいのある人たちのありのままの状態を受け入れることだと考えます。多様性が尊重される社会になってこそ、楽しい人生が実現します。「楽しいと思えることは、とにかくやってみる」を合言葉に、楽しい職域開拓、楽しい生活の開拓を徹底的に実施してゆきたいと思えます。

ねんど じぎょうほうこく
2024年度 事業報告のポイント

1、楽しくなければ、かたるべ会じゃない

(1) 楽しく働く

- ① 本人が求める「楽しい社会的労働」を見極め、実現に向けて活動しました
- ② 工賃にこだわらず、楽しいと思えることはやってみました
- ③ 法人内、授産活動一本化に向け準備を始めました
- ④ 演劇、音楽、アートなども仕事として取り組みました
- ⑤ イベントで工賃アップと相互理解の活動を開始しました

(2) 楽しく生活する

① 本人が求める「楽しい生活」の実現に向けた活動を開始しました

② グループホーム共有部分の清掃活動を開始しました

(3) 業務の効率化

事務局、日中活動事業所、グループホームなどの業務が、効率的に、ミスなくスムーズに遂行できるよう改善しました

① 年末調整ペーパーレス化、職員給与オンライン化、社員給与銀行振込開始しました

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

(1) 個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにする

(2) 個別支援計画で「生きづらさ(壁)」に対するサポートを強化する

3、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

(1) 関係機関をはじめ、様々な機関や人との信頼関係(相互理解)を深める

(2) 「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

4、健康に関する取組

(1) 看護師二人体制で、健康診断の見直しに取り組みました。

(2) 健康的な食事

(3) 健康的な運動

(4) 心の安定に関する取り組み

5、SDGsの取組

SDGsを実践し、障がいがある無しに関わらず、普通に暮らせる社会を目指します
そして、「誰もが楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し、切り開きます

2024年度 第1かたるべ社事業報告(案)

【目的】

日中活動を通じて充実した日々を送るとともに、一人ひとりが違いを認め合い、生きがいの持てる人生に向けた支援をする。

【事業内容】

生活介護事業 20名

かつどうないよう
【活動内容】

1、楽しくなければ、かたるべ会じゃない

(1) 楽しく働く

- ・ 企業からの受注作業(梱包、封入、シール貼り、ポスティング等)
 - ・ 行政からの委託業務(公園清掃、歩道清掃)
 - ・ 学校からの委託業務(プール清掃等)
 - ・ 鴨居自治会の回覧セッティング作業
→得意先からの受注作業、委託業務に継続して取り組んだ
 - ・ 自主製品製作(レジン、プラスチック粘土、アロマ石鹸等)
→新商品としてハーバリウムボールペンの製造、販売、ワークショップを行った
野毛山動物園で開園記念日に配布するノベルティグッズを受注した
 - ・ 販売活動(地域のお祭り等)
→地域行事(歴史未来フェス、つづきっこまつり、鴨居盆踊り大会、荏田小学校夏祭り、神整商・神整振フェスティバル、茅ヶ崎中学校ふれあい祭り、緑区民祭り、東本郷ふるさと祭り、愛のフェスティバル、荏田小学校どんと焼き、鴨居桜まつり)で販売を行った
 - ・ 形に捉われずに様々な活動を行う
→運動、ボランティア活動等を行った
 - ・ 活動の様子を YOUTUBE で配信する
→社員の強みや特徴を活かした動画を配信した
- (2) 楽しく生活する
- ・ 本人の楽しみを見つけて行動する
 - ・ 本人が行きたいところに行ってみる
→カップヌードルミュージアム訪問、映画鑑賞、買物、外食等を支援した
- (3) 業務の効率化
- ・ アイデアを出し合って実行する
→かたるべ会全体として取り組んでいる内容を意識した

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

- ・ 個別支援面談に力を入れて生きづらさ(壁)を明らかにする
- ・ 個別支援計画で生きづらさ(壁)に対するサポートを強化する
→生きづらさを意識して面談や個別支援計画作成を行った

3、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

- ・ 積極的に地域に出て地域の方々と顔の見える関係を深めていく

- ・販売活動、自治会活動、美化活動を通して地域の方々と信頼関係(相互理解)を深める
→日々、積極的に外に出て地域の方々と関わるように意識した
ハロウィンの時期に近隣の保育園の方々と交流した

4、健康に関する取り組み

- ・ウォーキングやダンス等の運動を取り入れる
→毎日の活動として行った
- ・栄養のバランスが極端に偏らないようにする
→必要な方には声かけや買い物の支援を行った
- ・心の安定に向けてコミュニケーションを深める

5、SDGs の取組

- ・ゴミの分別、バイオマスのゴミ袋を使用
- ・マイ箸、マイバック、マイボトルを使用
- ・フードドライブに食材を提供する
→イオン鴨居店のフードバンクに食材を提供した

6、「日程表」

9:00 ラジオ体操
9:05 朝礼
10:30 10分休憩
12:00 昼食
13:00 作業開始
15:00 20分休憩
16:15 作業終了・清掃
16:30 終礼
17:00 解散

2024年度 第2かたるべ社事業報告(案)

【目的】

一人ひとりの強みを活かし、充実した社会的労働の追求と関係機関との信頼関係(相互理解)を深める。また、生きづらさに注目し、心の安定と楽しく生きがいの持つ人生となるように支援する。

じぎょうないよう
【事業内容】

せいかつかいごじぎょう めい
生活介護事業 25名
しゅうろうけいぞくしえん がたじぎょう めい
就労継続支援B型事業 12名

かつどうないよう
【活動内容】

たの かい
1、楽しくなければ、かたるべ会じゃない

じゅちゅうさぎょう
【受注作業】

じゅちゅうさぎょうしん き かい たく ゆうげんが い しゃ だ い だ かい せい さ く し ょ よこはまししゃぎょう
受注作業新規開拓(5/22有限会社大高製作所、10/21横浜市社協)

よこはまししゃかいふくしきぎょうかい き かく か
○横浜市社会福祉協議会企画課

だい き よこはまし ち い き ふくし ほ けん けい かく ぼん じゅ たく
第5期横浜市地域福祉保健計画(わかりやすい版)アドバイザー受託した

がつ し しゃ ぎ ょ う い は な あ な い ょ う だ い ひ ょ う ほ う こ く い
12月 市社協に行き、話し合った内容を代表が報告に行く

がつ さ っ し ひ ょ う し けい さい だい じ て が いらい
1月 冊子の表紙に掲載する題字の手書き依頼がある

がつ に ち れ い わ ね ん ど だい かい よこはまし ち い き ふくし ほ けん けい かく よこはまし ち い き ふくし かつ どう けい かく
3月11日「令和6年度 第1回 横浜市地域福祉保健計画・横浜市地域福祉活動計画
けんとうかい さん か
検討会」に参加

- ・ アリフト(メール便配達) 12回
- ・ よこはまし り つ が っ こ う けい さ ぎ ょ う い たく や ま う ち し ょ う が っ こ う かい
横浜市立学校軽作業委託(山内小学校) 53回
- ・ み ど り が お か ち ょ う が っ こ う あ な せん じ ょ う さ ぎ ょ う
緑が丘中学校 テニスボール穴あけ洗浄作業
- ・ と お か い ち ば ち ょ う が っ こ う さ ぎ ょ う が つ が つ
十日市場中学校 ワックス作業(12月 3月)

せい せ ー ー
【清掃】

- ・ け や き そう じ ょ そう さ ぎ ょ う かい
けやき荘除草作業 3回
- ・ み ほ せい せ ー ー かい
三保清掃 4回
- ・ み ど り く せい せ ー ー かい
緑区清掃 31回
- ・ あ さ ひ く せい せ ー ー かい
旭区清掃 41回
- ・ み な と み ら い せい せ ー ー かい
みなとみらい清掃 22回
- ・ あ お ば く ほ だ う せい せ ー ー かい
青葉区歩道清掃 32回
- ・ つ づ き く ほ だ う せい せ ー ー かい
都筑区歩道清掃 14回
- ・ ほ ー む せい せ ー ー し ょ
ホーム清掃 5 か所
- ・ せい せ ー ー か も い し ょ う が っ こ う と お か い ち ば ち ょ う が っ こ う ひ が し か も い ち ょ う が っ こ う
プール清掃(鴨居小学校、十日市場中学校、東鴨居中学校)

はん ば い かい
【販売】 20回

がつ か も い え き よこはまし れ き し は く づ つかん
5月 鴨居駅・横浜市歴史博物館

がつ
6月 つづきっこまつり

がつ か も い の う り ょ う ぼ ん お ど たい かい か も い の う り ょ う ぼ ん お ど たい かい
7月 てつなぎまつり、鴨居納涼盆踊り大会、鴨居納涼盆踊り大会

がつ ほ う え だ し ょ う が っ こ う な つ ま つ
8月 うれしの放デイワークショップ、荏田小学校夏祭り

がつ じん せい し ょ う
9月 INSECTOR IN KAGAHARA、神整商フェス、

ち が さ き ち ょ う が っ こ う ま つ
茅ヶ崎中学校ふれあい祭り

がつ か な が わ く み ん く み ん
10月 DE&I FESTIVAL、神奈川区民まつり、みどり区民まつり、

荏田小学校ハロウィンイベント

- 11月 ひがほん郷まつり、都筑ふれあいの丘まつり、愛のフェスティバル
1月 荏田小学校どんと焼き
2月 荏田小学校ボードゲームフェア

- ・ 活動に対して、楽しく取り組む 取り組みたいと思う気持ちになれるような労働環境を模索し、支援を考えていく

- ① 社員考案の脚本で本読みの練習を行った
- ② 法人内の音楽のイベントにギター演奏で参加した

(2) 楽しく生活する

- ① 余暇活動として社員旅行(東京タワー・水族館)に行った(10/4)
- ② 余暇活動として BBQ を実施した(3/11)

(3) 業務の効率化

- ① 月間 週間の予定を調整することで、各職員の連携が取りやすくなった
- ② 業務内容を明確にした事で、各職員が予定を考え取り組める体制となった

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

- ① 個別支援面談やモニタリングなども含め、ご家族とのコミュニケーションを積極的にはかった

3、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

- ① 荏田小学校学援隊に所属し地域の見守り活動に参加
- ② 明星大学講演活動
- ③ よこはま市障害者共同受注センター職員見学受入れ
- ④ 佐江戸町内会会長訪問(地域連携活動に関する意見交換)
- ⑤ 大日本プロレスとの連携再開
次年度取り組みの打合せ、合同清掃活動の実施
- ⑥ YouTube や Instagram での活動情報の発信をした

4、健康に関する取り組み

- ① 健康活動 20回
散歩、花見、少人数でのヨガやストレッチなどに取り組んだ

5、SDGSの取り組み

- ① 継続して節電や節水を意識した声かけを行った

6、^{にっぺい}日程

9:00 ^{さぎよう かつどう}作業・活動

10:30 ^{きゆうけい}休憩

10:40 ^{さぎよう かつどう}作業・活動

12:00 ^{ちゆうしょく}昼食

13:00 ^{さぎよう}作業

15:00 ^{きゆうけい}休憩

15:20 ^{さぎよう かつどう}作業・活動

16:30 ^{そうじ}掃除

16:50 ミーティング

17:00 ^{かいさん}解散

※^{かつどうじかん}活動時間・^{ないよう}内容は^{じょうきよう}状況により^{へんこう}変更あり

2024年度 ^{ねんど}第3^{だい}かたるべ社^{しゃ}(^{いばしょ}居場所^{よつく}作り支援^{しえん})事業報告(案)^{じぎょうほうこく あん}

【^{もく}目^{てき}的】

^ひ引きこもりがちな方、^{かた}社会との^{しゃかい}接点^{せってん}が少ない方、^{かた}一般的な^{いっぱんてき}福祉^{ふくし}の^{かんきよう}環境^{ていこう}に抵抗がある方など個々の^{かた}状況^{じょうきよう}に応^{おう}じて^{たいおう}対応^{おこな}を行うことで、それぞれの^{いばしょ}居場所^{いばしょ}ができること。

【^{じぎょうないよう}事業内容】

^{しゅうろうけいぞくしえん}就労継続支援B型事業 ^{めい}20名

【^{かつどうないよう}活動内容】

1、^{たの}楽しくなければ、^{かい}かたるべ会^{かい}じゃない

(1) ^{たの}楽しく^{はたら}働く

- ・ ^{ほんにん}本人が^{もと}求める「^{たの}楽しい^{しゃかいてきろうどう}社会的労働」の^{じつげん}実現に向けて、^{しゃいん}社員と^{しよくいん}職員は^ひ日々の^{かつどう}活動や^{コミュニケーション}コミュニケーションを通じて、^{いっしょ}一緒に^{たの}楽しみや^{かんどう}感動を^{きょうゆう}共有する
- ・ ^ひ日々の^{かか}関わりから^う生まれる^{こうきしん}本人の^{たんきゅうしん}好奇心や^{ひてい}探求心を^{たの}否定せず、そこから^{おも}楽しいと^{つな}思えることに^{おも}繋^{つな}がけていく
- ^{しゃいん}社員さんが^{たの}楽しんでいる^{かつどう}活動について、^{いっしょ}一緒に^たスケジュールを^た立てたり、^{ひつよう}必要な^{びひん}備品を^か買いに行ったり等、^い楽しみを^{など}共有する^{たの}機会を増やしました
- ^{はなさ}ジャスミンの「^た花咲く^{たびじ}旅路クラブ」や「^{さんか}フットサル」に^{かつどう}参加させていただき、^{つう}活動を通じて^{しゃいん}社員さんと^{しよくいん}職員の^{かんけい}関係が^{ふか}深まりました

→お昼休みに「ランチ会」を行い、社員さんのお話を聴く機会が増えました

→「外出活動」として社員と職員で関内駅からみなとみらいまで散策しました

(2) 楽しく生活する

- ・ 楽しく働くことと本人が求める「楽しい生活」が連動するために、ご家族や関係者も一緒に楽しめる仕組みを模索する

(3) 業務の効率化

- ・ 業務報告・連絡に関することは、その都度、LINE ワークスやグリュッディで共有し、伝達ミスを防ぐ

- ・ 職員ミーティングにて事例を検討し、各自の役割を考える

→ミーティングにて事例を検討し、職員間の役割を話し合いました

- ・ 業務担当者が不在でも問題がないようなマニュアルを作る

→同じ建物内の相談支援と LINE ワークスのグループを作ったことで、すぐに情報共有ができ、報告や連絡の伝達ミスも減りました

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

- ・ 個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにし本人、ご家族、職員で必要な支援を考えて話し合い実践する

- ・ 個別支援会議、個別支援面談を深め、本人の気持ちに寄り添った支援を行う

- ・ 引きこもり、暴力、お金に対する拘り、精神的不安定、行動制限等の生きづらさがある人を中心に関係者で集まり、その方に合った「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索する

→面談にて生きづらさ(壁)が明らかになった時、ご本人とご家族から個別にお話を聴く機会を増やし、ご本人やご家族の気持ちに寄り添った支援を行いました

3、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

- ・ 一般家庭からの不用品回収や近隣企業からの受注仕事を通じて、地域との信頼関係(相互理解)を深める

- ・ 美化活動(庭の草むしり)や地域清掃を通じて、地域で暮らされている方との信頼関係(相互理解)を深める

→近隣住民から頻繁に不用品回収や美化活動(庭の草むしり)の依頼が入り、活動を通じて相互理解が深められました

- ・ 関係機関と連携し地域で居場所がない方の実習や新規受け入れ態勢を作る

- ・ 様々な機関や支援者と連携し「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

→川和地区福祉施設ネットワークに参加しました

→川和アート展(6月、3月)に参加しました

→都筑区自立支援協議会に参加しました

4、健康に関する取組

- ・ 健康面を意識したバランスの取れた食事を提案する

- ・ 一人暮らしの方に健康面と衛生面の支援

→一人暮らしの方に健康面と衛生面のアドバイスをを行いました

- ・ 活動にスポーツ活動や川沿いの散歩を取り入れ、心の安定を図る

→気持ちの問題で活動に入られない方と一緒に散歩をしながらゴミ拾いを行いました

→活動の合間にスポーツ活動(野球、サッカー)を行いました

6、SDGS の取組

- ・ ご家庭で不要になった衣類や雑貨を回収し、リサイクル品として販売する

- ・ 古紙からリサイクル品販売用の値札やメッセージカードを作る

- ・ マイ箸、マイボトル、エコバックを使用する

- ・ ゴミを正しく分別する

- ・ ゴミ袋にバイオマスポリ袋を使用する

→地域のイベントに参加してリサイクル品を販売しました

→ ゴミの分別は徹底して取り組みました

7、「日程表」

10:00 活動

12:00 昼食

13:00 掃除

13:30 活動

15:00 休憩

15:20 活動

16:30 掃除

16:50 ミーティング

17:00 解散

2024年度ジャスミン事業報告(案)

【目的】

社員とご家族が深くコミュニケーションをとり、否定せず、社員とご家族の生きづらさを理解し支援する。また、新しいチャレンジにより、一般社会と障がい者の相互理解を深めていく。

【事業内容】

生活介護事業 10名
就労継続支援B型事業 26名

【活動内容】

1、楽しくなければ、かたるべ会じゃない

(1)楽しく働く

- ①一人ずつのお話を聞く ご本人の楽しいことを仕事の中に反映する
- ②一人ずつの役割を認めて、達成感を感じてもらう
- ③新しいことにチャレンジし、新しい自分の発見により、楽しさを感じてもらう
- ④演劇…一人ずつの特徴を活かした喜劇を作る
→一日の多数のお仕事の中には社員さんは自ら選んでもらい、仕事を楽しくする
→今年度の演劇「七夕の伝説」を作り、入社式で発表しました

(2)楽しく生活する

- ①花咲く旅路クラブ …活動場所、内容などはすべて社員さんの意見を聞き、多数決
年間花咲く旅路クラブ活動回数:15回
- ②ウクレレ演奏活動 …上手下手関係なく全員が音楽を楽しむ
→週に一回、練習している

(3)業務の効率化

- ① 事務時間を決める
- ② 皆さんの意見を聞く
- ③ やってみる
- ④ 振り返りをして改善していく

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

- ① コミュニケーションによりご本人とご家族と信頼関係を作り、個別支援計画を立てて、生きづらさを支援する
- ② 特別事情があるご家族担当者と施設長をチームを作って支援する
→8月に支援必要な家族に対するケースワーカーさんと協力して支援していた

3、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

- ① 販売活動や地域の清掃を通して地域との相互理解を深める
→センター北駅の販売 週に3回行っている
→地域清掃 週に一回行っている
- ② 演劇を YouTube に投稿し障害者のことを社会に発信する
→今年度の演劇「七夏の伝説」を YouTube に UP した
- ③ 大豆肉まんの体験を再開し、一般の市民との相互理解を深める
→実施準備中

また相互理解を深くするため10月25日かたるべ会のファッションショーを開催しました

4、健康に関する取り組み

- ① 健康的なベジタリアン食とアルカリ水を提供 する
→ジャスミンの昼食は毎日大豆ミートで作った食事です
- ② 健康的な活動、太極拳、瞑想(やり方:呼吸を数える)
→社員さん12名 11月9日港北区太極拳大会に参加しました

5、SDGSの取り組み

- ① 古着でバックなどを作る→販売する時プレゼントとしてお客さんに配っている
- ② 大豆ミートの料理を多数開発した
台湾料理ルーローハン、大豆ミート餃子、大豆ミートのから揚げなど、ピーマン大豆ミート肉詰め、ロールキャベツ・・・

6、日程

9:00	作業・活動
10:30	休憩
10:40	作業・活動
12:00	昼食
13:00	作業
15:00	休憩

15:20 作業・活動

16:30 掃除

16:50 ミーティング

17:00 解散

※活動時間・内容は状況により変更あり

2024年度 うれしの事業報告(案)

【目的】

個々の状況に応じ、様々な活動を行う中で、心の安定と充実した生活、そして楽しく生きがいの持てる人生となるよう支援する。

【事業内容】

生活介護事業

定員30名 → 現在31名

就労継続支援B型事業

定員15名 → 現在14名

就労移行支援事業

定員 6名 → 現在 0名

【活動内容】

1、楽しくなければ、かたまるべ会じゃない

(1)楽しく働く

- 一人ひとりが楽しく活動できるよう選択肢を広げ、柔軟に対応する
- 充実した日々を目指し、新しい活動にも積極的にチャレンジする
- 活動内容
食品製造、販売活動、作業、SNS活動、就職に向けた活動、外出他
→駅前、地域ケアプラザ、わくわく広場、看護学校など継続して販売した
→お菓子の新商品の開発に取り組んだ
→新しい活動(公園清掃や軽作業)に取り組み、活動の幅が広がった
→他事業所や法人内の活動にも積極的に参加し活躍の場が広がった
(アート活動、サッカー体験、小学校の清掃、バンジョークラブなど)
→販売活動に加えて日々の活動をSNSにアップする頻度を増やした
→新商品のお菓子や商品づくりに積極的に取り組んだ

(2)楽しく生活する

- 日々の活動の中で本人がやりたい、楽しいと感じる活動をする
- 一人ひとりの状況に合わせて、外出や余暇の活動も積極的に行っていく
→外出する機会が少なかった社員も活動などで積極的に外出した
→外での活動も増え、外食する機会もあり楽しむことができた

→販売、買い物、ポスティング、ウォーキングなど外出する幅も増えた

(3)業務の効率化

- 必要な情報はグリッディや LINEWORKS を活用して共有する
- 業務の役割を明確化し、協力体制を意識する

→業務連絡はグリッディとLINEWORKS を活用して行った

→毎日の連絡事項を使用し、業務の役割や毎日の役割を明確にした

→LINEWORKS では目的に応じたグループを作り、活用した

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

(1)個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにする

- 日々の関わりの中で信頼関係を築き、面談で話をしっかり聞く
- 本人、ご家族、関係者と話をする機会を積極的につくっていく

(2)個別支援計画で「生きづらさ(壁)」に対するサポートを強化する

- 自己実現ができるような環境、信頼関係を築いて支援を行う

→面談では信頼関係を築くために積極的にコミュニケーションを取った

→必要に応じて複数回面談をおこなう場合もあった

→面談を通して、初めて知る情報もたくさんあり、日々の活動にも繋がった

3、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

(1)関係機関をはじめ、様々な機関や人との信頼関係(相互理解)を深める

- 川和町内会と積極的に関わり、信頼関係(相互理解)を深める
- 地域の学校や事業所(川和小学校、横浜ビー・コルセアーズ等)と連携し、活動を通して信頼関係(相互理解)を深める

→川和町内会と関わり、夏祭り盆踊り大会に参加

→川和ネットワークに参加し、ひまわり工房と一緒にアート展に参加

→都筑区内の事業所と連携し、お祭りやイベントに参加

→町内会や商店街のイベント、街とつながる川和のさとパーティーにも参加

4、健康に関する取り組み

(1)健康的な食事

- 毎日、栄養のバランスのとれた食事の提供
- 栄養のバランスのとれた食事とお菓子のメニュー開発

→毎日のランチの提供、新メニューの開発に取り組んだ

→個々の状況に合わせて、やわらか食やムース食を始めた

(2)健康的な運動

- 体操や運動、ウォーキングなど体を動かす活動を日々取り入れる

→^{たいそう}体操やウォーキングなどで^{けんこうかつどう}健康活動をした

→^{さぎょう}ポスティング作業で^{がいしゅつ}外出する^{きかい}機会も増えた

(3) ^{こころ}心の安定に関する^{とく}取り組み

- ・^{おんがく}音楽や^{めいそう}瞑想などを^{ひびと}日々^い取り入れる

→^{まいにち}毎日、^{おんがく}音楽や^{めいそう}瞑想の^{じかん}時間を取り入れ、^{きもち}気持ちを^{あんてい}安定することができた

5、SDGs の^{とりくみ}取組

- ・^{ごみ}ゴミの^{ぶんべつ}分別と^{さくげん}削減を^{いしき}意識する、^{ばいおます}バイオマスの^{ごみ}ゴミ^{ぶくろ}袋の^{しよう}使用
- ・^{まい}マイ箸、^{まい}マイバック、^{まい}マイボトルを使う
- ・^{じもと}地元の^{あずまやとうふてん}東屋豆腐店から^{せつきよくてき}積極的に^{しょくざい}食材を^し仕入れる(^{こくさんだいずし}国産大豆使用)
- ・^{しょくにく}食肉、^{にゅうせいひん}乳製品の^{こうにゅう}購入を^へ減らす(^{ぎゅうにゅう}牛乳→^{とうにゅう}豆乳など)
- ・^{おむにみーと}オムニミートなど^{だいたいに}代替肉を使用した^{しよう}メニューを^と取り入れる(^{じゃすみん}ジャスミンと^{れんけい}連携)
- ・^{ぱーぱーれす}ペーパーレス化(^かお知らせや^{しりよう}資料は^しデータで^{はいふ}配布、^{きようゆう}共有)

6、「^{にっけいひよう}日程表」

9:00 ミーティング

9:20 ^{たいそう}かたるべ体操

9:30 ^{さぎょうかいし}作業開始

12:00 ^{ちゅうしよく}昼食

13:00 ^{さぎょうかいし}作業開始

15:20 ^{めいそう}瞑想、オープンダイアログ

16:00 ^{かいさん}解散

2024 年度 ^{じどうほうかごとう}うれしの児童放課後等^{じぎょうほうこくあん}デイサービス事業報告(案)

【^{もく}目 ^{てき}的】

^{がっこうざいがくちゅう}学校在学中の^{じどう}児童・^{せいと}生徒に対して、^{ほうかご}放課後や^{ちようきやす}長期休み中において^{ここのとくせい}個々の特性に応じた^{しえん}支援を^{おこな}行い、^{こころゆた}心豊かに^{せいちよう}成長や^{はったつ}発達を^{はぐく}育むお手伝いを^{てつだ}することで、^{こども}子供と^{かぞく}ご家族が^{えがお}笑顔になれる^ば場、そして^い生きがいの^も持てる^{じんせい}人生となるよう^{しえん}支援する。

【^{じぎょうないよう}事業内容】

^{ほうかごとう}放課後等^{しょうがいじつしよしえんじぎょう}デイサービス(障害児通所支援事業)

^{ていいん}定員^{めい}10名/^{にち}日

^{とうろくすう}登録数^{めい}21名

^{たいしやうしや}対象者: ^{しょうがっこう}小学校から^{こうこうせい}高校生までの^{ほうかごとう}放課後等^{じぎょうほうこくあん}デイサービス^{じゆきやうしやしやうしよじしや}受給者証所持者

1、楽しくなければ、かたるべ会じゃない

(1) 楽しく遊ぶ

① 本人が活躍できる活動の提供

→個別支援計画のニーズに沿って各々が活躍できるよう企画し、実践した

② 新しいことに挑戦する

→各々の可能性を信じて、未経験なものに挑戦してもらった

(外食・料理・販売など)

(2) 楽しく生活する

① 充実した活動により円滑な家族関係を目指す

→長期休みは家族参加型のワークショップを企画し、実践した

第1 かたるべ社 ハーバリウム

第2 かたるべ社 缶バッジ

ひまわり工房 トートバック・レジ

→楽しく生活するための準備として短期入所を利用してもらった

(3) 業務の効率化

① 役割の明確化

→活動前に必ず打ち合わせをして、役割を明確にしたことで良い連携がとれた

連携・フォローの意識向上

→活動や役割を LINEWORKS にて共有し、全員が動きを把握できた

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

(1) 個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにする

① 本人、家族が安心できるよう個別支援面談を深める

② 家族の今までを否定しない

→ご家族の気持ちに寄り添った面談を行い、必要な援助を行った

(2) 個別支援計画で「生きづらさ(壁)」に対するサポートを強化する

① 本人が主体的になれる計画の立案

② 立案した計画の実行と挑戦

→各々のニーズを元に企画し、事前に対策を練って実践する

3、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

(1) 関係機関をはじめ、様々な機関や人との信頼関係(相互理解)を深める

① 関係機関と情報共有、支援を補い合いながら信頼関係を深める

→関係機関から新規希望の依頼が増えた

(2)「^{たの}楽しく、^{い い}生き生きと^く暮らせる^{かんきょう}環境」を^{もさく}模索し^き切り開く

① ^{しっぱい}失敗^{けいけん}経験も^{わら}笑いあえる^{みらい}未来作り

② ^ふ父母会の^{かい}開催

③ ^{こうてい}肯定する^{ぶん}文化と^{あか}明るく^{たの}楽しい^{けいかく}計画の^{りつあん}立案

→ ^{ちようせん}挑戦が^{しっぱい}失敗(楽しそうにしていなかった)に^お終わることもあったが、^{ちいき}地域の子^こどもたちと^{たの}楽しく^{たの}交流しながら^す過ごすことができた

4、^{けんこう}健康に関する^{とりくみ}取組

(1) ^{けんこうてき}健康的な^{しょくじ}食事

→ ^{えいよう}栄養^{ていきよう}バランスのとれたおやつ、^{ていきよう}ランチの提供

(2) ^{けんこうてき}健康的な^{うんどう}運動

→ ^{こじん}個人の^あペースに^{てきど}合わせた^{うんどう}適度な運動

→ ^{そと}外に^で出る^{きかい}機会を増やした

(3) ^{こころ}心の^{あんてい}安定に関する^{とりくみ}取り組み

→ ^{おのおの}各々の^す好きな・^{たの}楽しい^{かつどう}活動を提供した

→ ^{かつどうご}活動後に^{おこな}オープンダイアログを^お行い^つ落ち着いてから^{そうげい}送迎した

5、^{とりくみ}SDGsの取組

→ ^{すいとう}水筒を持^{さん}参

→ ^{はいき}廃棄^{やてい}予定の^{だん}段ボールや^{ごみ}ごみを使^{つか}って^{かつどう}アート^{じっし}活動を実施

6、「^{にってい}日程」

・ ^{そうげい}送迎(学校または^{じたく}自宅からうれしの)

・ ^{こべつ}個別の^{たいわ}対話(連絡帳^{れんらくちよう}チェック)

・ ^て手洗、^あおやつ

・ ^{かく}各^わプログラムに^{かつどう}分かれて活動

・ ^{かえ}帰りの会(オープンダイアログ)

・ ^{そうげい}送迎(うれしのから^{じたく}自宅)

・ ^{えいぎょうに}営業日時 ^ち月曜日^{げつようび}から^{きんようび}金曜日 9:00～17:00

2024年度 ^{ねんど}ひまわり工房事業報告(案)

【^{もく}目 ^{てき}的】

^{げいじゅつ}芸術活動を中心に、^{ちゆうしん}様々な^{さまざま}活動に^{かつどう}挑戦し、^{ちようせん}地域社会との^{ちいきしゃかい}相互理解を^{そうごりかい}深め、^{ふか}

^{ひとり}一人ひとりが^{ちが}違いを^{みと}認めあえる^{しゃかい}社会を実現することを^{もくてき}目的とします。

^{ひょうげん}アートは^{ひょうげん}表現活動です。^{ひとりひとり}一人一人^{ひょうげん}表現は^{ちが}違うし、その^{ひょうげん}表現に^{せい}正解は^{せいかい}ありません。

自分の感情や思いを自由に表現していただきたい。
そして、その違いを認め合える社会をめざします。

【事業内容】

生活介護事業 定員20名、現在18名

【活動内容】

1、楽しくなければ、かたるべ会じゃない

(1)楽しく働く

- ① 本人が求める「楽しい社会的労働」を見極め、実現に向けて活動した
- ② 工賃にこだわらず、楽しいと思えることはやってみた
- ③ 各自の希望を聞きながらの活動を行った
 - ・ 採用活動への参加、外出、ダンス、音楽活動など
- ④ アートを通し社会から必要とされていると実感できるような活動を実施
 - ・ 横浜市役所、ラポール、BOSCH、川和アート展などに出店し、
「一般の展覧会でも通用する」と高い評価をいただいた
- ⑤ アート作品の販売、レンタルを行った。
 - ・ レンタルアートは5か所、定期的に交換している
- ⑥ 川和アート展を行った
 - ・ 川和町内の無印良品、学校、病院、薬局、高齢者施設、障がい者施設など
17か所の団体が参加し、大変好評だった

(2)楽しく生活する

- ① 本人が求める「楽しい生活」の実現に向け活動した
- ② 各自の希望を聞き、個別の外出など実施した
 - ・ 買い物、カラオケ、動物園など
- ③ 一人一人が活かされた活動をした
- ④ 一人一人が満足感をもって過ごせる活動を目指した

(3)業務の効率化

- ① 業務が、効率的に、ミスなくスムーズに遂行できるよう改善した
- ② アイディアを募った
- ③ 実行してみた

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

- (1)個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにする
- (2)1組1回2時間の面談を実施し、しっかり話を聞いた
- (3)個別支援計画で「生きづらさ(壁)」に対するサポートを強化する

(4) ^い生きづらさ ^{たい}に対して ^{ひつよう}必要な ^{えんじょ}援助、^{かんきよう}環境 ^{かんが}を考えて ^{しえんけいかく}支援計画 ^{さくせい}を作成 ^{じっこう}し実行した

3、^{しんらいかんけい}信頼関係 ^{そうごりかい}(相互理解) ^もの持てる ^{しゃかい}社会 ^むに向けた ^{とく}取り組み

(1) ^{かわわ}川和 ^{てん}アート展 ^{さんか}に参加

(2) ^{かわわふくし}川和福祉施設 ^{せつ}ネットワーク ^{さんか}に参加

(3) ^{かわわちやうないかい}川和町内会、^{なつまつ}夏祭り ^{さんか}に参加

(4) ^{きやうせいかいまつ}共生会祭り ^{さんか}に参加

(5) ^{つづきくじりつしえんきやうぎかい}都筑区自立支援協議会 ^{さんか}に参加

4、^{けんこう}健康 ^{かん}に関する ^{とりくみ}取組

(1) ^{けんこうてき}健康的 ^{しよくじ}な食事

- ・ ^{まいにち}毎日、^{えいよう}栄養 ^{しよくじ}のバランス ^{ていきやう}のとれた食事 ^{ていきやう}を提供

(2) ^{けんこうてき}健康的 ^{うんどう}な運動

- ・ ^{たいそう}体操 ^{おくがい}や屋外 ^{かつどう}での活動 ^{とく}を取り入れた

(3) ^{こころ}心の ^{あんてい}安定 ^{かん}に関する ^{とく}取り組み

- ・ ^{めいそう}瞑想 ^{おこな}やオープンダイアログ ^{おこな}を行った

5、^{とりくみ}SDGs ^{とりくみ}の取組

- ・ ^{ぶんべつ}ゴミの分別 ^{ぎやうしゃ}(業者 ^{かくにん}に確認 ^{かてい}し、家庭 ^{じぎやう}ごみと事業 ^{ちが}ごみの違い ^{りかい}を理解 ^{とく}して、取り組む)
- ・ ^{がくろしやう}バイオマスのゴミ袋 ^{がくろしやう}使用
- ・ ^{はし}マイ箸、^{はし}マイバック、^{はし}マイボトル
- ・ ^{はいきぶつ}廃棄物 ^{せいさく}からのアート制作 ^た(さおり、その他)

6、「^{にっけいひやう}日程表」 ^じ9時～^じ16時

9:00 ミーティング

9:30 ^{さぎやうかいし}作業開始

10:30 ^{きゆうけい}休憩

12:00 ^{ちゆうしよく}昼食

13:00 ^{さぎやうかいし}作業開始

15:00 おやつ

15:20 ^{めいそう}瞑想 ^{おこな}およびオープンダイアログ

16:00 ^{かいさん}解散

きょうどうせいかつえんじょじぎょうほうこく あん
2024年度共同生活援助事業報告(案)

【目 的】

入居者一人ひとりの意思、自主性を尊重し、入居者の立場にたった質の高い援助と心身の健康保持に努め、生きがいの持てる人生となるよう支援する
個々の状況に応じ、精神的、経済的自立を支援する。
様々な状況の中でも「障がいがあるなしに関わらず普通に暮らせる社会」「誰もが楽しく、生き生きと暮らせる社会」を切り開く。

【事業内容】

共同生活援助

- 各ホーム定員
主たる事業所 ハイツマモル 7ホーム 定員合計41名
グリーンハイツ6名 アムール6名 ハイツマモル5名
アローズ6名 フレンズ6名 ビット6名 ルークス6名

主たる事業所 セルフिटッシュ 7ホーム 定員合計38名
セルフィットッシュ6名 ビーンズ6名 フォレスト6名 第2ビーンズ2名
アポロ6名 フラット6名 リーフ6名

主たる事業所 ジャスパー 3ホーム 定員合計17名
ジャスパー6名 マモルハウス5名 スカイ6名

3事業所17ホーム 合計96名

【活動内容】

1、楽しくなければ、かたるべ会じゃない

(1) 楽しく働く

- 本人が求める「楽しい社会的労働」を実現するため、生活の場から参画できる環境を整える

(2) 楽しく生活する

- 一人一人にあった楽しみを模索し、メリハリのついた生活をサポートする
→ガイドヘルパーの私的契約等、一人一人にあった活動を行う

(3) 業務の効率化

- 各ホームの業務マニュアルを整備し、支援内容をわかりやすくする
- 業務マニュアルを活用し、効率的にミスなくスムーズに遂行できるようにする

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

(1) 個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにする

- ・ 社会生活をする上で、障害となることをあきらかにする

(2) 個別支援計画で「生きづらさ(壁)」に対するサポートを強化する

- ・ 行動規制やルールではない、自己実現に向けた支援について熟慮する

→ご家族との面談もおこない、相互理解やサポート強化に努めた

3、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取組

(1) 関係機関をはじめ、様々な機関や人との信頼関係(相互理解)を深める

より細やかな連携を密に取り関係性を深め各種機関との共有を図る

(2) 「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

地域活動等行われる際には時間や場所、人数等を考慮しながら積極的に社会参加をする

→地域の清掃活動や防災訓練、お祭り等に参加した

4、健康に関する取り組み

(1) 健康的な食事

- ・ 栄養バランスのとれた食事をサポートする
- ・ 職員は定期的に食品衛生責任者講習を受ける

(2) 健康的な運動

- ・ 余暇の過ごし方を意識する

→ストレッチやウォーキング等、休日も体を動かすことができるよう努めた

(3) 心の安定に関する取り組み

- ・ 個別の相談をしっかりと聞けるように一人ひとりの時間を大切にする
- ・ リラックス出来る環境作りを行う

5、SDGS の取り組み

- ・ 節水や節電、リサイクル、ゴミを少なくすることなどホーム内で取り組めることを入居者と一緒に考えていく

- ・ マイボトル、マイ箸、エコバックを利用する

- ・ ゴミの分別の徹底・ゴミの捨て方に気を付ける

(生ごみ、お茶のパック等は水分をよく切ってから捨てるなど)

- ・ 食材を無駄にしないように購入する・地元産のものや環境に優しい食材を選ぶ

- ・ バイオマスゴミ袋を活用する

→継続して節水や節電、ゴミの分別等を徹底した

6、緊急時の対応

- ・ 入居者の生命、安全を第一に考えた速やかな対応をとれるよう AED、防災、避難訓練を定期的に行う
- ・ 定期的に防災用品を確認し急時に備える
→各ホームにて防災訓練、消防設備点検、防災自主点検をおこなった

7、一人暮らしへ移行した人への支援

- ・ 金銭管理方法、買い物、手続き、食事、健康面、近隣との関係等必要に応じた生活の援助を行う

2024年度 短期入所事業報告(案)

【目的】

個々の状況やご家族の状況に配慮したレスパイトを目的とし、個々に応じてその後の生活基盤の構築も目的とする。

【活動内容】

1、楽しくなければ、かたるべ会じゃない

(1) 楽しく生活する

- ・ 利用される方が安心してリラックスできる環境を作る
- ・ 本人が求める「楽しい生活」の実現に向け、気持ちに寄り添いながら過不足のない支援を行う

→リラックスできる環境作りを意識し、居室にレンタルアートを飾りました

→初めて短期入所を利用される方とご家族には個別に事前見学と面談を設け、安心してご利用していただけるよう説明しました

(2) 業務の効率化

- ・ 業務の引継ぎは具体的に簡潔にまとめる
- ・ 直接支援以外の業務(居室清掃や洗濯)は項目を分けてスケジュール表を作成し、職員同士で補い合える仕組みを作る

→業務の引継ぎは短期職員共用パソコンのフォルダに打ち込み、常に共有できる状態にしました。短期入所の支援や服薬、利用予約に関することは都度、LINEワークスで共有しました

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

(1) 個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにする

- ・ 個別面談で各自の「生きづらさ(壁)」を明らかにして、ご本人とご家族の状況に配慮した短期利用を提案し、実践する

(2) 個別支援計画で「生きづらさ(壁)」に対するサポートを強化する

- ・ 所属先の支援計画に記載されている、生きづらさに対する支援を深める
- ・ 利用する方の事業所の個別支援計画を確認する
- ・ 定期的に利用される方に対しては、所属事業所で行われる個別支援会議等に参加させてもらう

→短期入所を利用されている方の個別支援会議に参加させていただき、ご本人やご家族の状況に配慮した短期利用を提案できました

3、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

- ・ 関係機関をはじめ、様々な機関や人との信頼関係(相互理解)を深める
- ・ 外部の事業所等からの利用も多いので、しっかりと所属先の機関と連携が取れる様にコミュニケーションを図り、信頼関係(相互理解)を深める

→外部の新規利用の方に対しては所属先の機関と密に連絡を取り合い、結果、毎月利用に繋がりました

→外部で短期を緊急利用したい方へ柔軟に対応し、関係機関と信頼関係を深められました

4、健康に関する取り組み

- ・ 通所先や家庭と健康状態の情報を共有する
- ・ 状況に応じて服薬支援をする
- ・ 状況に応じて通院支援を行う
- ・ 栄養バランスのとれた食事を提供する

→常にご家族や関係者に確認を行いながら服薬支援を行いました

→外部利用者と関わりがある訪問看護ステーションと繋がり、服薬変更時は密に連絡を取り合いました

→栄養のバランスや食物アレルギーなどに配慮した食事を提供しました

5、SDGS の取り組み

- ・ 食材の検討、食材を無駄にしない
- ・ 買い物の際はエコバックの使用
- ・ 節水、節電の徹底
- ・ リサイクル、ゴミの分別徹底と削減
- ・ バイオマスゴミ袋を使用する

→ゴミの分別、節水、節電を意識して取り組みました

2024年度 相談支援事業報告(案)

【目 的】

主体的な生活を支える、サービス利用の調整を図る為、事業所間で支援方針のずれのない計画相談支援を行う

【対象者】

障害福祉サービスまたは地域相談支援を利用する方々

【活動内容】

1、楽しくなければ、かたるべ会じゃない

(1) 楽しく働く

- ・ 本人が求める「楽しい社会的労働」の実現に向けて、関係機関の調整や本人の求めるものに合った新しい社会資源を開拓する

→本人が求める「楽しい社会的労働」の実現に向けて、就労先や外部利用者の事業所への訪問や関係機関の調整を行いました

(2) 楽しく生活する

- ・ 楽しい生活の実現に向け、本人が楽しいと思えることに対して柔軟に対応できるよう、計画作成時やモニタリングにおける面談は楽しくなるために必要なことを意識しながら進めていく

→面談では本人が楽しいと思えることを意識しながら聴き取り、計画を作成しました

→モニタリングにて休日にやりたいことを聴き取り、必要に応じて移動支援サービスを提案しました

(3) 業務の効率化

- ・ モニタリングや支援における訪問は年間予定へ具体的(訪問時期や事業所毎の訪問予定等)に落とし込み、それを基に各事業所やグループホームへの日程調整を行う
- 事業所、就労先、グループホームへのモニタリング訪問は時期毎に予定を立て、一度の訪問で複数の方の聴き取りを行いました
- ・ 報告、連絡に関しては、その都度、LINE ワークスやグリッディで共有する
- 同じ建物内の第3かたるベ社との LINE ワークスグループを作ったことで、報告、連絡ミスが減り、すぐに情報共有ができました

2、生きづらさに(壁)に対するサポートの強化

- ・ 個別面談、モニタリングで各自の生きづらさに対する計画を作成して振り返る
- ・ 所属する事業所で作成している支援計画と方向性を揃えて、生きづらさに対する支援計画を深める
- ・ 本人、ご家族、職員がお互いの違いを認め合う事が出来る様な個別支援会議や面談を意識する
- 会議参加者がお互いの違いを認め合う事が出来る様、意識して取り組みました
- ・ 主体的に楽しく生き生きと暮らせる様に本人の希望を掘り下げていく
- 個別支援会議に参加し、ご本人やご家族の生きづらさに明らかにし、所属事業所の支援の方向性と揃えた支援計画を立てました

3、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

- ・ 関係機関をはじめ、様々な機関や人との信頼関係(相互理解)を深める
- 外部のカンファレンスに積極的に参加し、様々な機関との関係を深めました
- ・ 信頼関係を深めるために自立支援協議会など様々な事業所と出会える場に参加し積極的に意見交換を行う
- 自立支援協議会(相談部会)に参加し、情報交換を行いました
- ・ 「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開くために、地域の社会資源をあらためて確認し必要なものを支援に取り入れていく

4、健康に関する取り組み

- ・ 所属事業所やご家庭と健康状態の情報を共有する
- ・ 福祉機関につながっていない人や一人暮らしで利用する人などは、日頃の健康状態に留意して、必要によっては通院付き添い等を行う

→実家暮らしの方の衛生面の保持、ご家族の負担軽減として居宅サービス(入浴、家事支援)追加の提案をしました

→一人暮らしの方や就労されている方の健康状態に留意し、通院同行や入院先の面会に伺いました

5、SDGS の取り組み

- ・事務に係る消耗品類の無駄をなくしていく
 - ・リサイクル、ゴミの分別徹底と削減
 - ・面談などで移動の際は公共交通機関を利用する
 - ・節水、節電の徹底
- 意識して取り組みました

2024年度就労支援事業報告(案)

【目 的】

一人ひとりが社会人として、違いを認め合い、個々の状況に応じて、就労することを通し、楽しく生きがいの持てる人生に繋げていく。

【活動内容】

1、楽しくなければ、かたまるべ会じゃない

(1) 楽しく働く

【2024年度就労者状況】

就労者 1名 退職者 6名

- ① 各担当職員協力のもと定期訪問を行い、労働環境の把握や本人、就労先、家族へのフォローや調整を行った

(2) 楽しく生活する

- ① 退職後のフォロー(ハローワーク、企業との連絡調整、転職相談)

家族全体へ支援が必要な場合には、生活面も含めた支援を継続的に 行 っ て いる

(3) 業務の効率化

- ① 就労者の連絡先、法人内対応職員によるサポート内容をリスト化した

- ・リストに記入更新することで情報の一元化
- ・就労期間が長くなると、本人を知る人が少なくなっていく

そのため、クラウドサービスを利用しリストを共有することで、法人内全体に周知出来る体制を整えた

2、生きづらさ(壁)に対するサポート

- ① 就労者の支援体制を関係している職員間で共有する調整を随時行った

3、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取組

- ① 状況により企業と打ち合わせ、「障害特性」などをもとに対応を協議した

4、健康に関する取組

- ① 必要な就労者の通院支援に同行した
- ② 精神不調に対しての相談、状況により医師、看護師とも連携し対応した

2024年度 相互理解事業報告(案)

【目的】

カルチャーチェンジ指針を通して、一人ひとりの違いを認め合い、相互理解を深め、信頼関係を築き、誰もが楽しく生き生きとしている社会を実現する。

【活動内容】

1、楽しくなければ、かたるべ会じゃない

- ・ ナチュラルファースト(かたるべ会の内部の当事者団体)が各事業所の枠を超えて楽しく活発に活動できるよう支援する

→各事業所の代表者で行われる定例会の開催を支援した。

今年度はラポールで懇親会(ボッチャ、ボーリング等)を開催した

- ・ 当事者の皆さんが社会に向けて思いを発信できるよう支援する。

(YouTube など活用する)

→ナチュラルファーストとして作成した動画を YouTube で配信した

- ・ ピープルファースト(知的障害者の当事者団体)の集まりに積極的に参加できるよう支援する

→毎月行われるピープルファースト横浜定例会への参加

毎月、ピープルファーストの中心メンバーで行われる事務局会議への参加

7月26日に津久井やまゆり園事件の献花と追悼集会に参加

10月12日～13日に奈良県で行われた全国大会への参加

2月21日に 2025年神奈川全国大会に向けて横浜市役所、横浜市社協へ訪問

○ピープルファースト

1973年にアメリカで始まった知的障害者の当事者団体で各国に広がっている。

「^{しょうがいしゃ}障害者である^{まえ}前に^{にんげん}人間である」という^{おも}思いから、^{さまざま}様々な^{かつどう}活動を行^{おこな}っている。
日本では^{にほん}毎年^{まいとしぜんこくたいかい}全国大会が^{かいさい}開催されている。

2024年度^{ねんど}交流事業報告(案)^{こうりゅうじぎょうほうこく あん}

【^{もく}目^{てき}的】

カルチャーチェンジ指針^{ししん}を通して、^{ひと}一人ひとりの^{ちが}違いを^{みと}認め合い、^あ相互理解を^{そうごりかい}深め、
信頼関係^{しんらいかんけい}を^{きず}築き、^{だれ}誰もが^{たの}楽しく^い生き生き^いとしている^{しゃかい}社会を実現^{じつげん}する。

【^{かつどうないよう}活動内容】

1、^{しんらいかんけい}信頼関係(相互理解)^もの持^{しゃかい}てる^む社会に^と向^くけた^と取り組み

- ・「^{たの}楽しく^{はたら}働^{たの}き」「^{せいかつ}楽しく生活^{じっし}する」を^{つた}実施し、^{つた}伝える
- ・カルチャーチェンジ指針^{ししん}を通して、^{みと}認め合い、^あ肯定する^{こうてい}文化を^{ぶんか}伝える
- ・^{かた}かたる^{かいしゅさい}べ会主^{こうりゅうかい}催の^{ねん}交流会を^{かいかいさい}年2～3回^{がいぶ}開催し、^{そうごりかい}外部との相互理解を^{そくしん}促進する

→^{かみはんき}上半期^{こうりゅうかい}の交流会は^{じっし}実施できていないが、^{てん}アート展などの^{あんない}ご案内をした

→^{かわ}川和^{てん}アート展 ^がプレイベント ^{がつ}6月22日^{にち}(土)^どに^{かいさい}開催した

→^{かわ}川和^{てん}アート展 ^が3月23日^{にち}(日)～^が4月5日^{にち}(土)^どに^{かいさい}開催した

→^{こうりゅうかい}交流会の実施

○^{にっ}日程… ^が2月21日^{にち}(金) 19:00～21:00

○^{ばしょ}場所…^ううれしの ○^{さんかにんずう}参加人数…^{めい}85名

○^{たの}テーマ…「^{がっこう}楽しくなければ、学校じゃない」

- ・^{えんげき}演劇、^{こうえん}講演、^{おんがくなど}音楽等、^{たいめん}対面と^{かつよう}オンラインを^{ちいき}活用し、^{しゃかい}地域や社会との^{こうりゅう}交流を^{ふか}深める

→^{ちいき}地域のお祭りに^{まつ}出店することで、^{しゅってん}地域の方々と^{ちいき}交流し^{かたがた}相互理解を^{こうりゅう}深めた

→^{かもいしょうまつ}鴨居小祭り、^{かわわしょうまつ}川和小祭り、^{ちが}茅ヶ崎中^{さきちゅう}ふれあい祭り、^{まつ}神奈川区民まつり、

^ま緑区民まつり、^ま都筑ふれあいの丘まつり、^ま東本郷ふるさとまつり、^ま都田西小、

^ま荏田小のイベント、^まつづきっこまつりなど

→^{こうえんかつどう}講演活動を行^{おこな}い、^{がくせい}学生と^{せっきよくてき}積極的に^{そうごりかい}コミュニケーションをし^{ふか}相互理解を深めた

(^{めいせいだいがく}明星大学、^{おうびりんだいがく}桜美林大学、^{こくがくいんだいがく}國學院大學)

- ・^{かつどう}バンジョークラブの活動

^{きょうしつ}バンジョー教室を開^{かいさい}催し、^{いっばん}一般の方も^{かた}広く^{ひろ}参加し、^{さんか}バンジョークラブのメンバーと

^{おんがくかつどう}音楽活動を通して^と交流を^{こうりゅう}深めていく。^{ふか}音楽イベントにも参加していく

→^{かく}各イベントに^{さんか}参加し、^{えんそう}バンジョークラブの演奏を通して^{そうごりかい}相互理解を^{ふか}深めた

→^{きょうせい}共生フェスタ、^{にほんはったつしょうがいがっかい}日本発達障害学会 ^{かわわげいのうぶんかさい}シンポジウム、^{かわわ}川和芸能文化祭

→^{まち}街とつながる^{かわわ}川和のさとパーティー

- ・ てつなぎつづき、神奈川県知的障害施設団体連合会に関わり、他法人との連携をしていき、交流を深めていく。

→他法人と連携をしてイベントの開催、参加をした

(てつなぎまつり、ボッチャ体験、駅前販売など)

○カルチャーチェンジ指針 ～否定される文化から、肯定する文化へ～

- (1)強みに注目し、弱みに注目しない
- (2)違いを認め合う(スキル、価値観、宗教…)
- (3)遊び心を取り入れ、楽しく、生き生きと
- (4)円滑なコミュニケーション(否定せず、肯定しあう)
- (5)挑戦！発見！新しい自分、そして社会！

2024年度 職員研修事業報告(案)

【目 的】

職員一人ひとりの支援の質を向上させ、基本理念実現に向けて、社会に貢献できる人材の育成。また、職員同士のコミュニケーションを深めることで、違いを認め合い、相互理解を深め、信頼関係を築き、一人ひとりが必要とされている職場を実現していく。

【活動内容】

1、「支援」の充実に向けた取り組み

*新人職員対象

- ・ 採用後1ヶ月、新人職員研修で下記項目を実施する

[座学]

基本理念、支援に当たっての留意事項、カルチャーチェンジ指針、

愛に気付くコミュニケーション、内観、オープンダイアログ

障害者虐待防止法、差別解消法

法人規約・規定、法人ガイドライン、リスクマネジメント

(企画提案制度、服薬管理マニュアル、行方不明時対応、災害時行動)

GRIDY・どこキャビ、スカイプ・LINE・Zoom の使い方

障碍の基礎知識、福祉施策

→4月 6日(土)…新人職員研修を対面で実施 8名参加

[体験]

日中、グループホームの各事業所を訪問する

懇親を深めるため、若手職員との横浜日帰りツアーを実施する

→6月15日(土)…東京日帰りバスツアーを実施 16名参加

・ 外部研修

初任者研修(障害者支援センター主催 5日間)、てんかん基礎講座

→障害者支援センター主催の研修…全5回 9名参加

→てんかん基礎講座…すべてオンライン受講 9名参加

・ 採用後随時、安全運転講習(日中活動職員対象、各事業所が対応)

個別に実施し、安全運転を意識していく。実施回数は個人の状況による

→4月-1名、6月-2名、10月-1名

*全職員対象

・ 職員全体研修(年2回)、各事業所(随時)

法人基本理念の認識、障害者への仕事・生活・余暇の支援をしていく上で、

違いを認め合い、相互理解を深め、信頼関係を築き、支援の質を高める

一人ひとりが大切な人たちであり、必要とされていると実感できる研修を行う

→対面の職員全体職員研修を実施

【第1回】

○日程… 7月13日(土) 13:00~17:40

○場所…うれしの、ひまわり工房、Zoom ○参加人数…81名

○テーマ…オープンダイアログ 自己紹介、生きづらさ、困っていること

【第2回】

○日程… 11月23日(土) 9:30~18:00

○場所…うれしの、ひまわり工房 ○参加人数…71名

○テーマ…災害時の行動確認、行方不明者のGPS搜索訓練、炊き出し訓練

・ 救命講習(各事業所、各エリアで実施)

成人に対する心肺蘇生とAEDの使用方を主体とした講習

→上記、11月23日(土)の職員全体研修でAED救命講習を実施

2024年度 健康管理事業計画 事業報告(案)

【目的】

社員・入居者・職員を問わず、いつまでも身体・精神ともに充実した生活が送れるように健康面から様々なサポートを行う。

かつどうないよう
【活動内容】

1、健康診断

- ・社員（第1、第2、第3かたるべ社・ジャスミン・うれしの・ひまわり工房）・・・年2回
- ・GH入居者・・・年1回（各職場で対応）
- ・職員 日中活動・相談支援職員・・・年1回
- ・職員 GH・短期入所・・・年2回（労働安全衛生規則による）
- ・GHアルバイト・ドライバー職員（本人と相談の上実施する）
- ・40歳以上の社員・職員・・・人間ドック
（以後5年ごとに1度 人間ドックを受診する）
- ・40歳以上の女性社員・職員・・・婦人科健診（非常勤職員は週4日以上勤務
かつかたるべ会を主体として勤務されている方）
※協力医療機関 サイクリック：東京中央クリニック：神奈川予防医学協会
- ・アフターフォローについて
健診の結果を受け 再検査の案内および実施確認
社員・入居者・ご家族・職員間で協力してアフターフォローに当たる
→ 看護師2名により、過去の健康診断結果や通院記録・既往歴・服薬状況などの
確認と整理を開始し、日々の健康管理に役立てていけるようにした

2、感染予防・衛生管理

- ・感染予防業務継続計画に従い、衛生管理を徹底する
- ・リーバーによる出勤前と午後の検温を実施
- ・来客者の管理、訪問先での感染予防策実施
- ・インフルエンザ予防接種の実施（職員・社員）
- ・インフルエンザ・ノロウイルス等の流行については、状況に応じて対応していく
（感染拡大を防ぐため、事業所間の連携を強化する）
- ・衛生管理の徹底・・・手洗い、うがいの励行、常時マスクの着用、アルコール手指
消毒
- ・各事業所における感染拡大防止のための情報収集及び準備、対応
- ・衛生管理に関する職員研修
日中活動・・・必要に応じ 食品管理衛生責任者講習 受講
必要に応じ 食品に関する研修参加（食品表示法等）
GH・・・食品管理衛生責任者講習 受講
内部研修「衛生管理について」（事務局会議にて実施）
- ・コロナウイルスの感染防止対策を継続する
コロナワクチン予防接種の検討（職員・社員・その他）
抗原検査の適宜実施、実習生への来訪事前検査実施

来訪者の管理、訪問先への感染予防策実施

食事時の会話を控え 食事後にマスクを交換・清潔を保つ

空気の流れを考えた定期的換気の実施

- 法人内及び家庭内でのコロナウイルス感染予防を業務継続計画に従い実施する

療養期間・在宅期間を設けた感染拡大防止

濃厚接触者及び体調不良者の抗原検査実施

入居者の感染者発生の場合 所属グループホームでの療養を基本とする

必要に応じ 短期入所などを療養施設として活用する

- コロナウイルスの感染に一定の終息がみられてきたため以下のとおり対応を変更した

- ・ マスクの推奨 → マスクの着用は任意

- ・ リーバーの入力不要

* ただし、感染者の状況によっては再開する可能性もあります

3、生活習慣病予防等に関する相談

- ・ 肥満・高血圧等 生活習慣病予防に関する取組を行う

- ・ 肥満対策について 運動面・食事面サポート・関係機関との連携を行う

- ・ 看護師による心身(ストレスなど)の健康に関する相談実施

- ・ 井泉先生(嘱託医)星野先生(嘱託医)による健康相談 カウンセリング実施

- 看護師による健康相談や通院付添いをおこなう体制を整えた

4、健康に関する取組 各事業所との連携を図る

- ・ 健康的な食事(昼食の献立等 栄養面を考える)

- ・ 健康的な運動(ウォーキング・体操などの習慣化)

- ・ 在宅における健康推進の提案

2024年度 防火防災事業計画 事業報告(案)

【目的】

災害は予知することができません。そのため様々な災害を想定した日々の備えと防火・防災のための訓練が大切です。社員・入居者及び職員の生命と身体の保全を図るため、感染対策を徹底しながら防火・防災活動に取り組んでいきます。

【活動内容】

- 1、業務継続計画にのっとり 防災・避難訓練の実施

◎社員・入居者・職員の災害時行動を明確にする

○防火・防災訓練 … 年2回実施(各事業所ごと)

※図上訓練も併用する

- ・ 1回目…地震時の防災避難と避難場所への経路確認・消火器使用訓練
- ・ 2回目…火災通報訓練・消火器使用訓練

○OGH合同防災避難訓練…年1回実施(GH)

- ・ 地震を想定した避難訓練・避難場所への経路確認

○浸水害避難訓練…年1回実施(該当事業所ごと)

※図上訓練も併用する

- ・ 浸水害を想定した屋内避難訓練・避難場所への経路確認

○地域防災拠点での防災訓練等への参加…随時

→ 11月職員全体研修として「災害時防災訓練」を実施

- ・ 場所：うれしの・ひまわり工房
- ・ 想定状況：地震発生、停電(電気使用不可)、断水(トイレのみ OK)
- ・ 非常用電源確認、寝袋体験、炊き出し訓練、AED使用訓練など

2、防火・防災設備の点検及び備蓄品の管理

○日中活動施設(各事業所)

- ・ 法人自主点検…年2回実施
- ・ 消防署の立ち入り検査…要請に応じ随時
- ・ 消防設備法定点検…年2回実施 (各所轄消防署に年1回提出)
- ・ ジャスミン…工藤建設による消防設備点検実施 年2回実施

○OGH(各事業所)

- ・ 法人自主点検…年2回実施
- ・ 消防署の立ち入り検査…要請に応じ随時
- ・ 消防設備法定点検…年2回実施 (各所轄消防署に年1回提出)

○日中活動施設・GH共通

- ・ 防災用備蓄品の期限や内容の確認を行い適正な物を常備する
- ・ 災害時の情報収集のためWi-Fi環境や充電用バッテリーを常備する
- ・ 消費期限の近づいた非常食・非常用飲料水は、フードバンクへの寄付をおこなうなど廃棄以外の方法を検討する

→ うれしの・ひまわり工房の一時避難所としての機能強化を図った

- ・ 災害時用 非常トイレの整備
- ・ 寝袋など備蓄強化
- ・ 防災食の備蓄強化
- ・ ソーラー充電器などの整備

- ・ その他 ^た防災用^{ぼうさいよう}備蓄^{びちく}全般^{ぜんぱん}の整理^{せいり}と備蓄場所^{びちくばしょ}の明確化^{めいかくか}をおこなった

3. その他^た

- 「災害時^{さいがいじ}の対策^{たいさく}マニュアル^{しよくいんよう}（職員用^{かぞくよう}・ご家族用^{こうしん}）」の更新^{ずいじ}（随時）
- 緊急時^{きんきゅうじ}の連携^{れんけい}と緊急連絡先^{きんきゅうれんらくさき}の確認^{かくにん}・更新^{こうしん}（随時）
- 防火管理者^{ぼうかかんりしゃ}の設置^{せっち}・消防計画^{しょうぼうけいかく}の作成提出^{さくせいていしゆつ}（随時）
- 横浜市主催^{よこはまししゆさい}の災害時^{さいがいじ}連絡訓練^{れんらくくんれんさんか}参加^{ずいじ}（随時）
- 地域^{ちいき}の防火防災活動^{ぼうかぼうさいかつどう}との連携^{れんけい}
- AED使用研修実施^{しようけんしゅうじっし}（オンライン訓練併用^{くんれんへいよう}）
- ALSOK・まもるっく・GHみまもりサポート^{しよう}の使用^{けんさくけんしゅうじっし}・検索研修実施
- 新設事業所^{しんせつじぎょうしょ}への防犯カメラ^{ぼうはん}の設置^{せっち}（随時）